

リュウココリーネの抑制球による年内開花

徳永敦子・森園寛治¹⁾・松村 司

(佐賀県農業試験研究センター・¹⁾佐賀県農業大学校)

Atsuko TOKUNAGA, Kanji MORIZONO and Tsukasa MATSUMURA :
The flowering within the year of Leucocoryne using retarding bulbs

リュウココリーネは、秋植え球根であり、佐賀県での普通栽培では3月～4月開花となる。開花を早めるため、定植前に球根を8℃で1カ月冷蔵すると約1カ月早く開花できたが、年内開花は困難であった。そこで球根の花芽発育を抑制させる球根貯蔵温度について検討し、そこで効果の見られた貯蔵温度で前年産の球根を貯蔵して、その球根を用い年内出し作型について検討した。

1. 材料および方法

試験1：花芽抑制温度を確認するため、1995年6月の球根掘上げ直後より、室内乾燥(無処理)、8℃および20℃で貯蔵後定植した。貯蔵中および定植後1カ月おきに5球ずつ掘あげて解剖し花芽分化を調査した。

試験2：試験1の結果から品種毎の抑制効果を明らかにするとともに、品種「ブルプレア」を用いて年内開花を検証するため、1996年6月1日から10月1日まで8℃、10月1日以降20℃で貯蔵した抑制球を1996年9月12日および10月16日に定植し、生育開花を調査した。

2. 結果および考察

試験1：各貯蔵温度における花芽発育は、10月16日の定植日では、無処理区で生長点肥厚期～生長点2分期、20℃区で生長点2分期、8℃区で未分化～生長点肥厚期となり、20℃区で花芽の発育がやや進んだ。定植1カ月後の11月16日では、無処理区が生長点2分期～雄ずい形成期であったのに対し、20℃貯蔵区では仮雄ずい形成期～雌ずい形成期まで発育した。その後、12月中旬には無処理区と20℃区はやく・胚珠形成期に達した。一方8℃区は、定植後も花芽が生長点肥厚期から進まず、発芽せずに開花しなかった。試験2：9月12日の定植時の抑制球は5品種いずれも発芽しており、発根しているものも見られた。平均採花日は「ブルー」で最も早く11月17日となり、定植から平均採花日までの到花日数は66日で、定植して約2カ月で採花できた。次いで「ブルプレア」、「ピジャマイ」が11月23日で到花日数72日となり、以上の3品種は年内採花が可能であった。しかし、「ホワイト」と「ライラック」は採花時期が揃わず、平均採花日は「ホワイト」で1月7日、「ライラック」で2月4日と遅れた。また、「ホワイト」は1球当たり0.7本と、1本以上採花できなかった。切り花品質では、切り花長は約40cm程とやや短く、小花数が3～6個と品種により異なった(第1表)。次に、「ブルプレア」の抑制球を用いて、9月12日および10月16日に定植し、無処理区と比較したところ、9月定植では、無処理区との平均採花日は定植翌年の3月3日で、到花日数は168日

であったのに対し、抑制球では定植当年の11月23日となり、到花日数は72日で無処理区と96日の差が見られ、採花が早まった。また、10月定植では無処理区との平均採花日は3月11日で到花日数146日であったのに対し、抑制球では12月26日で到花日数71日となり、75日の差が見られた。無処理区では、到花日数が9月は168日、10月では146日であったが、抑制球はいずれの定植でも71日～72日の到花日数となった。切り花長は、抑制球が無処理区に比べ、やや短く、小花数も少なかった(第2表)。以上の結果、前年産の球根を8℃で4カ月貯蔵後に20℃で貯蔵して花芽を抑制し、9月～10月に定植することで、年内開花が可能であった。また、品種により採花時期や切り花品質に差が見られたことから、品種毎の定植時期を検討する必要があると思われる。

第1表 抑制球における品種の違いと生育開花

品種名	平均採花日	切り花	切り花	小花	切り花	到花日数
		長	重	数	本数	
		(cm)	(g)	(個)	(本/球)	
ブルー	11.17	41.8	1.9	5.8	4.0	66
ブルプレア	11.23	43.3	1.8	3.7	1.5	72
ピジャマイ	11.23	38.6	1.6	5.5	1.7	72
ホワイト	1.7	40.4	1.6	2.8	0.7	117
ライラック	2.4	39.7	1.6	5.1	1.4	145

第2表 無処理と抑制球における生育開花

定植日	平均採花日	切り花	切り花	小花	切り花	到花日数
		長	重	数	本数	
		(cm)	(g)	(個)	(本/球)	
9.16無	3.3	48.1	3.2	6.1	3.0	168
9.12抑	11.23	43.3	1.8	3.7	1.5	72
10.16無	3.11	49.3	3.2	6.0	2.8	146
〃抑	12.26	42.7	2.3	4.1	2.4	71

注) 無は無処理、抑は抑制球根を表す。品種は「ブルプレア」